

科目区分	専門教育科目	科目名	保育方法論		科目コード	17Y590	担当者	本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科2年生	学期区分	前期	単位数	1	卒業要件	選択				
						免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士選択必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
子どもが主体的に活動しながら、発達に必要な体験を積み重ねていけるような保育方法を学ぶ。						1. 「 <u>尽心</u> 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 <u>創造</u> 」 高度な知性と創造力	3. 「 <u>実践</u> 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・創造力	⑤ 主体性・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	幼児期にふさわしい保育方法を理解する。										
2.	様々な保育方法について理解する。										
3.	保育の評価について理解する。										
4.							○	◎	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 受講態度（20%）					
プリントを使用し、板書しながら講義を進める。内容によっては適宜グループを作り、ディスカッションを行う。											
準備学修						課題等への対応					
認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針を読む。保育内容総論で学んだ内容で、関連がある部分を復習しておく（約30分）。子どもと日頃からかかわりを持つ。						教員が添削したものを授業の中で返却し、課題の内容を確認しなおす。 定期試験は、合格点に達しなかったものは再試験を行うが、それでも達しなかった場合は不合格とする。					
授業計画											
第1回	オリエンテーション、幼児期にふさわしい保育の方法①										
第2回	幼児期にふさわしい保育の方法②										
第3回	様々な保育形態										
第4回	保育における評価										
第5回	遊びの中の学びを育む保育										
第6回	家庭・地域との連携										
第7回	小学校との連携										
第8回	教育実習での実践について（グループディスカッション）、まとめ										
教科書・参考書						受講生へのメッセージ					
毎回、プリントを配布する。						目の前の子どもをどのような子どもに育てようとしていますか。子ども一人一人を理解し、発達段階を把握したうえでねらいを持ち、保育に携わりましょう。					